ONKYO

CD チューナー オーディオ システム

CBX-Z10

取扱説明書





お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

主な特長

- ■ iPod[*1]用Dockを搭載したCDチューナーオーディオシステム
- ■ iPod（第5世代、photo、および第4世代）、iPod nano（第2世代、および第1世代）、iPod miniに対応
- ■ iPod充電機能
- ■ 多彩なiPodとのシステム連動機能[※1]
- ■ iPodの操作もできるリモコンを付属[※2]
- ■ iPodの静止画や動画が出力できるVIDEO OUT端子
- ■ クリアなサウンドを実現するオンキヨー独自のOMF[*2]振動板採用8cmフルレンジスピーカーユニット
- ■ クラスを超えた量感と躍動感あふれる低音再生を可能とするAERO ACOUSTIC DRIVE[*3]
- ■ 3パターン・プリセットイコライザー（DYNAMIC 1、DYNAMIC 2、VOCAL）
- ■ 音楽用CD-R、CD-RW再生対応[※3]
- ■ 最大25曲のCDプログラム再生機能
- ■ FMワイドバンド[※4]/AMチューナー
- ■ 最大30局のFM/AMプリセットメモリー機能
- ■ 最大4プログラムのタイマー機能
- ■ お目覚め時に便利なスヌーズ機能
- ■ おやすみ前にも安心のスリープタイマー機能
- ■ 時計の24時間表示、12時間表示切り換え機能
- ■ 表示部の明るさを調整できるディマー機能

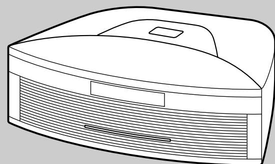
[*1] iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
[*2、3] OMF、AERO ACOUSTIC DRIVEは、オンキヨー株式会社の登録商標です。

[※1、2] 詳しくは、32ページをご覧ください。
[※3] PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。
[※4] 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、本機でテレビの音声を聞くことはできません。

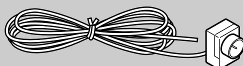
箱の中身を確かめる

製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

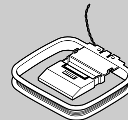
●製品本体（1）



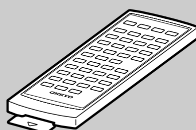
●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。



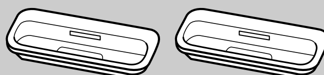
●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。



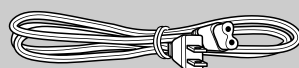
●リモコン−RC-674S（1）
（3Vリチウムボタン電池装着済）



●Dockアダプタ A/B（各1）



●電源コード（1）



●取扱説明書（本書）（1）●保証書（1）●ユーザー登録カード（1）●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）



電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

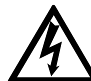


誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という 内容を表しています。


高温注意

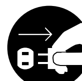

感電注意

⊘記号は「～してはいけない」という 禁止の内容を表しています。


分解禁止


ぬれ手禁止

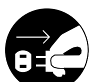
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。


電源プラグをコンセントから抜く


必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

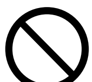
分解、改造しない


分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない


禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- 本機を押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （本機の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない


水場での使用禁止


水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない


禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する


必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない


禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ディスク挿入口（CDスロット）から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない


禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口（CDスロット）に手を入れない


指のけが
に注意

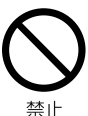
けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない


禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない


禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

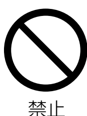
■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない


接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない


禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない


接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

■ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところへ置く


必ずする

小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かない所へ保管してください。
万一、飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない


禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける


注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する


必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

⚠注意

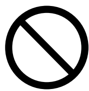
電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する


必ずする

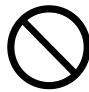
本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない


禁止

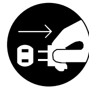
発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない


禁止

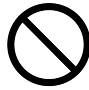
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く


電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む


禁止

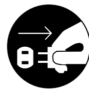
差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない


ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意


高温注意

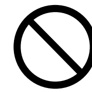
本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する


必ずする

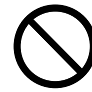
突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない


禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

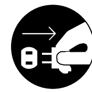
■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない


禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす


電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない


禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

電池に関するご注意

■リチウム電池を破棄する場合は、絶縁処理をする


必ずする

プラス、マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして、自治体の指示に従って破棄してください。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

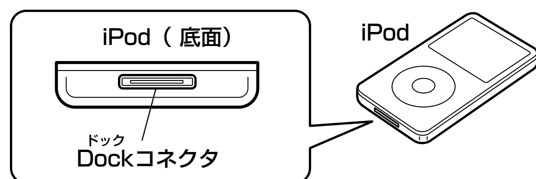
■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

iPodについて

接続できるiPod

Dockコネクタを装備したiPod（第3世代を除く）、iPod mini、iPod nanoが接続できます。
※ 必ず適合するDockアダプタをご使用ください。



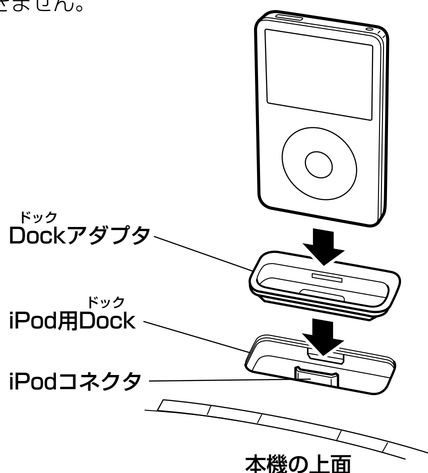
ご注意

本機との接続の前に、必ずお使いのiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデータは、Apple社のホームページにて入手してください。

■Dockアダプタについて

本機のiPod用Dockは、Universal Dockシステムを採用しています。Dockアダプタという付け換え可能な部品を取り付けることで、対応するiPodを接続することができます。

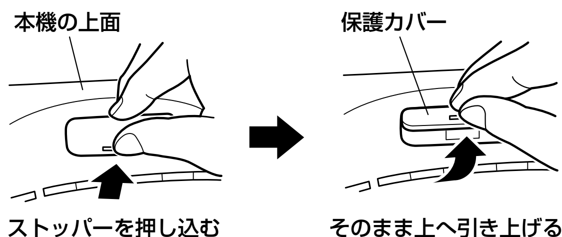
- 第5世代iPod、第1世代、第2世代iPod nanoはiPodに付属のDockアダプタをお使いください。（2007年5月現在）
- 上記以外の機種は、市販のApple Inc.製「Apple iPod Universal Dockアダプタ」をお使いいただくことができます。
- 本機は、第3世代iPodには対応していません。
- Dockコネクタを装備していない第1世代、第2世代iPod、および第1世代、第2世代iPod shuffleは、本機とは接続できません。



接続の前に

■本機のiPod用Dock保護カバーの外しかた

iPod用Dockは、お買い上げ時には保護カバーが取り付けられています。本機とiPodを接続してお使いになるときは、下記の手順で保護カバーを取り外し、大切に保管してください。iPod用Dockを長期間使用しない場合は、必ず保護カバーをもとどおりに取り付けてください。

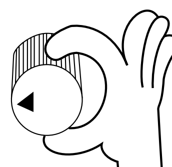


■取り扱い上のご注意

- iPodを抜き差しするときは、コネクタに負担をかけないようまっすぐにコネクタの傾きに合わせて、ていねいに行ってください。
- 本機と接続した状態でiPodの操作部を強く押したり、iPodを前後に倒したりしないようにしてください。コネクタ部の接触不良や破損の原因となります。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となります。
- iPodをケースなどに入れている場合、完全にコネクタと接続できず、音が出ない、リモコンで操作できないなどの問題が起きることがあります。iPodは、ケースを外してから本機に接続してください。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



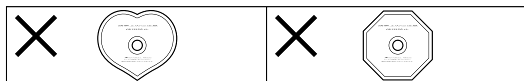
CDについて

再生上のご注意
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。



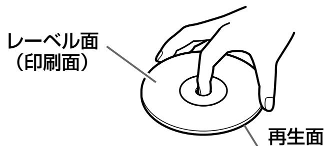
※本機は音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用できません。機器の故障の原因となることがあります。



複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について
複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

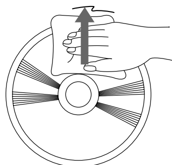
取り扱いについて
再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CDのお手入れについて
汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。



製品の取り扱いについて

お手入れについて
製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

テレビやパソコンとの近接使用について
一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機のスピーカー部は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合は本機をテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意
本機のスピーカー部は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
①FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
②発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④マイク使用時のハウリング
⑤テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

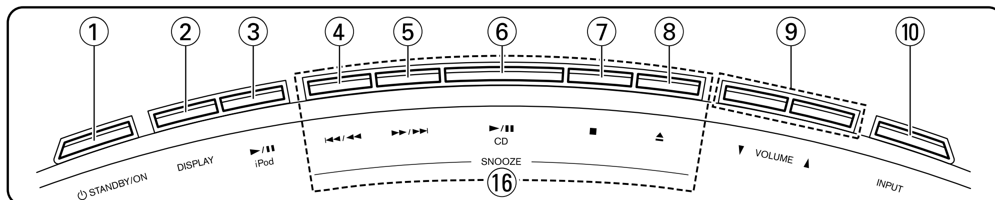
メモリー保持について
本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

設置場所について
本機は直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯などの下で使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

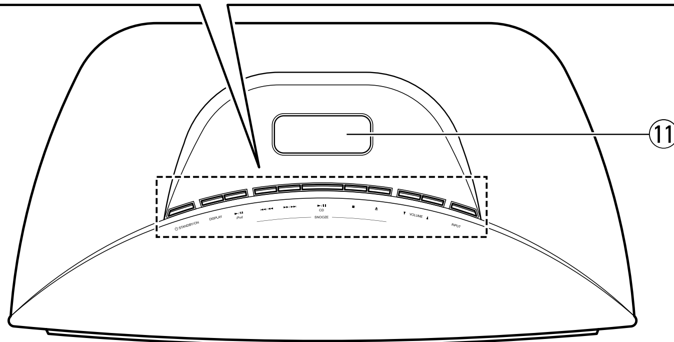
各部の名前と主な働き

上面パネル/前面パネル

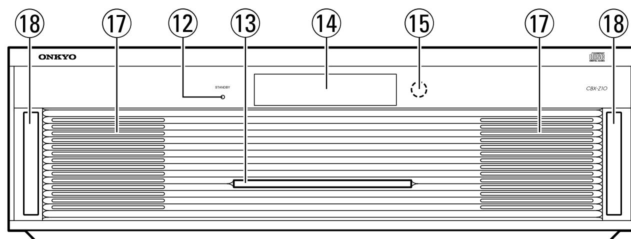
〔　〕内のページに主な説明があります。



上面パネル



前面パネル



① **STANDBY/ONボタン**〔19〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

② **DISPLAYボタン**〔23、28、32、33〕
表示部の情報を切り換えます。

③ **iPod ►/❚❚ボタン**〔31〕
iPodの再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。また、他のソースを聞いているときに押すと入力がiPodに切り換わり、iPodの再生を始めます。

④ **❙◄◄/◄◄ボタン**〔23、27、31〕
CDやiPodを聞いているときは、押すたびに1つ前の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早戻しします。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。

⑤ **►►/►►❙ボタン**〔23、27、31〕
CDやiPodを聞いているときは、押すたびに次の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早送りします。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。

⑥ **CD ►/❚❚ボタン**〔27〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。また、他のソースを聞いているときに押すと入力がCDに切り換わり、CDの再生を始めます。

⑦ **■ボタン**〔27〕
CDの再生を停止します。

⑧ **▲ボタン**〔27〕
CDを取り出すときに押します。

⑨ **VOLUME▲/▼ボタン**〔19〕
音量を調節します。

⑩ **INPUTボタン**〔19〕
聞くソースを選びます。

⑪ **iPod用Dock**〔7、31〕
iPodをセットします。お買い上げ時には、保護カバーが取り付けてあります。

⑫ **STANDBYインジケーター**〔19〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑬ **CDスロット**〔27〕
CDを挿入します。ディスクを軽く押すと、本体内部に引き込まれます。

⑭ **表示部**
次ページをご覧ください。

⑮ **リモコン受光部**〔14〕
リモコンからの信号を受信します。

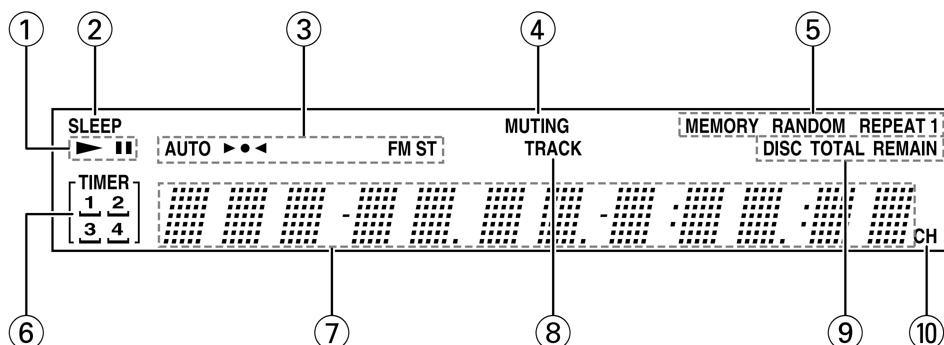
⑯ **SNOOZEボタン**〔38〕
スヌーズオンに設定したタイマー再生時、④⑤⑥⑦⑧のボタンがスヌーズボタンとして働きます。

⑰ **スピーカー部**

⑱ **スピーカーダクト部**

各部の名前と主な働き

表示部



① CD 再生表示
CDの再生状態を表示します。

② SLEEP（スリープ）表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

③ FM/AM受信情報表示
FM/AM受信時の情報を知らせます。

④ MUTING（ミューティング）表示
ミューティングが働いているときに点滅します。

⑤ 再生モード表示

MEMORY（メモリー）：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1：1曲リピート再生時に点灯します。

⑥ TIMER（タイマー）表示
タイマーのセット状態を表示します。

TIMER（タイマー）：タイマーを設定したときに点灯します。
数字：設定されたタイマー番号が点灯します。
␣：スヌーズオン設定時に点灯します。

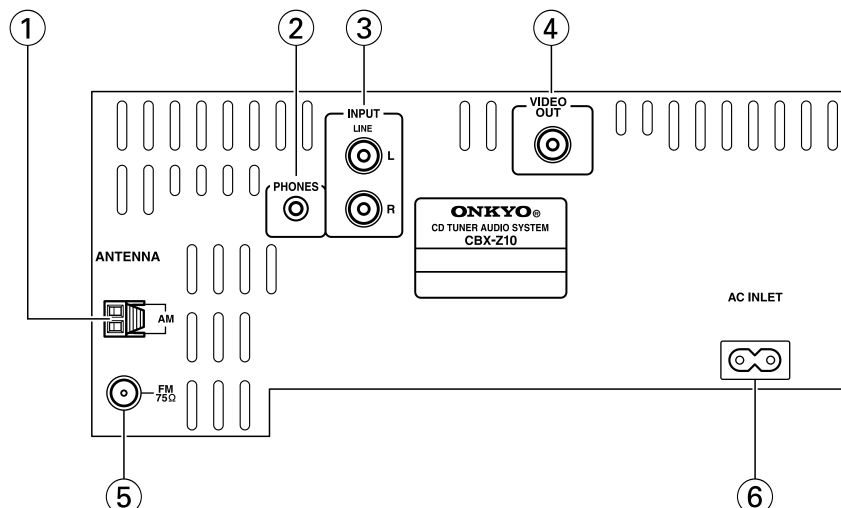
⑦ 多目的表示部
再生時間や名前などを表示します。

⑧ TRACK（トラック）表示
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑨ DISC（ディスク）/TOTAL（トータル）/REMAIN（リメイン）表示
ディスクや曲の総合計時間や経過時間、残り時間などを表示するときに点灯します。

⑩ CH（チャンネル）表示
チャンネル番号が表示されているときに点灯します。

後面パネル



① ANTENNA（AM）端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

② PHONES端子
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

③ INPUT（LINE）端子
市販のオーディオ用ピンコードを使って、外部機器の音声出力端子と接続します。MDレコーダーやカセットデッキ、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの音声を本機で再生することができます。

④ VIDEO OUT端子
市販のビデオコードを使って、テレビやプロジェクターの映像入力端子と接続します。本機のiPod用Dockにセットしたipod※のビデオや写真を、テレビやプロジェクターで見ることができます。
※映像出力に対応したiPodのみ

⑤ ANTENNA（FM75Ω）端子
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

⑥ AC INLET端子
付属の電源コードを接続します。

接続については、15～18ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

リモコン（RC-674S）〔　〕内のページに主な説明があります。

※iPodを操作するときに使用できるボタンについての詳細は、32ページをご覧ください。

SLEEP（スリープ）ボタン〔34〕
スリープタイマーの設定に使用します。

STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタン〔19、37〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

DIMMER（ディマー）ボタン〔19〕
表示部の明るさを切り換えます。

DISPLAY（ディスプレイ）ボタン〔23、28、32、33〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時は、文字の種類を選びます。

数字、アルファベット、カタカナ、記号ボタン〔23、25、28〕
ラジオのプリセット局を選んだり、プリセット局に文字を入力するときに使用します。
CD操作時は、選曲したり、メモリーするときに使用します。

◀◀/▶▶ ◀ TUNING（チューニング）▶ ボタン〔20、26、28、32〕
ラジオの周波数を合わせるときに使用します。
また、文字入力時はカーソルを移動します。
CD操作時は、再生中の曲を早送りしたり、早戻ししたりします。

I◀◀/▶▶I ◀ PRESET（プリセット）▶ ボタン〔21～26、28、29、32、33～39〕
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。
設定時は項目を選びます。
CD操作時は、前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

CD操作ボタン〔28〕
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

iPod操作ボタン〔32〕
ALBUM（アルバム）▼/▲　：アルバムリストを選びます。
PLAYLIST（プレイリスト）▼/▲：プレイリストを選びます。
iPod ▶/❚❚　：iPodの再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

CLOCK CALL（クロック コール）ボタン〔33〕
時刻を表示させるときに押します。

SNOOZE（スヌーズ）ボタン〔38〕
押すとスヌーズ（タイマー再生を一定時間止める）動作となります。

INPUT（インプット） ◀/▶ ボタン〔19、20、21、23〕
押すごとに入力が切り換わります。

MUTING（ミューティング）ボタン〔19〕
音を一時的に消します。

VOLUME（ボリューム）▲/▼ボタン〔19〕
音量を調節します。

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタン〔21、22、24～26、29〕
設定や編集操作に入ります。
設定中はその操作を取り消します。
CDのメモリー再生モードのときは、予約曲を取り消します。

TIMER（タイマー）ボタン〔35、39〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

YES/MODE/SHUFFLE（イエス モード シャッフル）ボタン〔22、23、25、26、29、30、32〕
FM放送受信時、オート/モノを切り換えます。
CD操作時は、メモリー再生やランダム再生を設定します。

ENTER（エンター）ボタン〔21、22、24～26、33、35～37、39〕
編集や各設定で項目を確定します。

REPEAT（リピート）ボタン〔30、32〕
CDをくり返し再生します。

PRESET EQ（プリセット イコライザー）ボタン〔19〕
プリセットされたイコライザーを選択します。

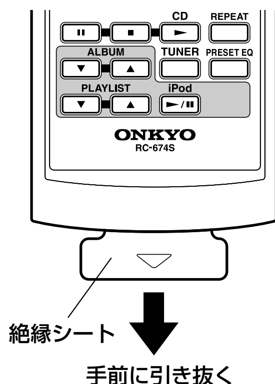
TUNER（チューナー）ボタン〔20、21、23〕
入力をチューナーに切り換えます。押すたびにFMとAMを切り換えます。

リモコンをお使いになる前に、この絶縁シートを引き抜いてください。

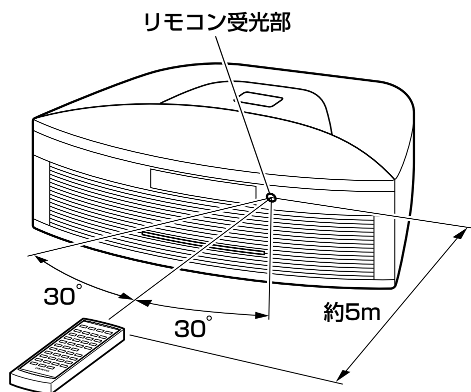
リモコンを準備する

リモコンの使いかた

リモコンにはあらかじめ電池が装着されています。ご使用の前にリモコンの絶縁シートを取り外してください。



リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

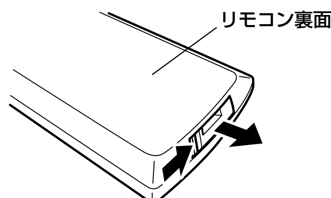


ご注意

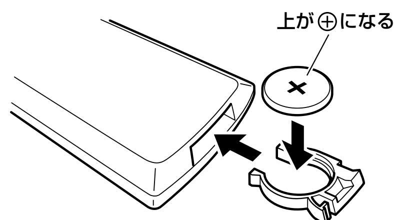
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に、本などものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスが使われていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

電池交換のしかた

1. ストッパーを横に押しながら、電池ホルダーを引き出す



2. 電池ホルダーにリチウムボタン電池を入れ、ホルダーを元に戻す

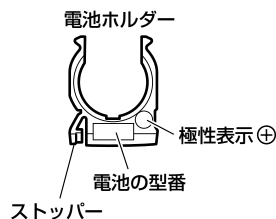


電池を交換する場合

電池を交換する場合は、必ず指定の型番の電池をお使いください。

使用電池

3Vリチウムボタン電池
CR2025



ご注意

- 電池ホルダーを引き出すときに、つめを痛めないように注意してください。
- リチウム電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚をおかされる結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。また、分解や充電、焼却を行ったり、100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には、指定の電池のみをご使用ください。異なる電池を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

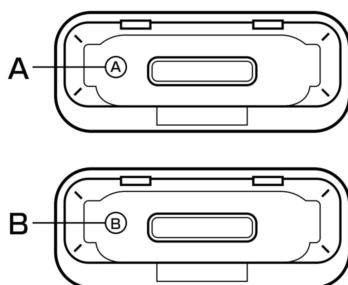
Dockアダプタを取り付ける

付属のDockアダプタについて

付属のDockアダプタは、iPod（第4世代、photo）、iPod miniに幅広く対応しますが、適合するApple Inc.製「Apple iPod Universal Dockアダプタ」が入手できる場合は、そのアダプタをご使用ください。

また、第5世代以降のiPodやiPod nanoにはDockアダプタが付属していますので、必ずそのアダプタをご使用ください。

本機には2種類のDockアダプタが付属していますので、下図を参照して裏面のA、Bの刻印を確認してください。



下表を参照のうえ、必ずお使いのiPodに適合するDockアダプタをご使用ください。

iPodの種類・操作パネル		A	B
第4世代iPod/ U2 Special Edition	20GB（U2 Special Editionを含む）	○	
	40GB		○
iPod mini		○	
iPod photo	30GB	○	
	40GB		○
	60GB		○

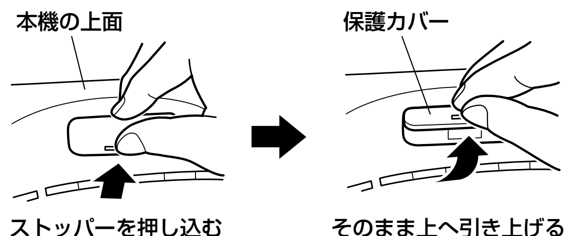
ご注意

- Dockアダプタを取り付けないで本機にiPodを接続すると、負担がかかってコネクタ部が劣化、破損するおそれがあります。また、Dockアダプタを取り付けても、接続したiPodを揺らすなどしてコネクタ部に負担をかけないでください。
- iPodの抜き差しは、まっすぐにコネクタの傾きに合わせて、ていねいに行ってください。

Dockアダプタの取り付けかた

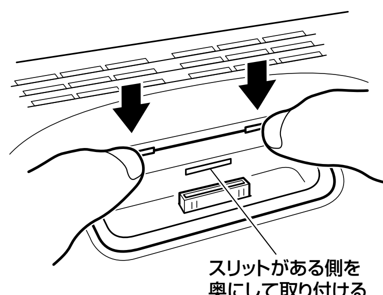
1.iPod用Dock保護カバーを外す

外した保護カバーは大切に保管し、iPod用Dockを長期間使用しないときは、もとどおり保護カバーを取り付けてください。



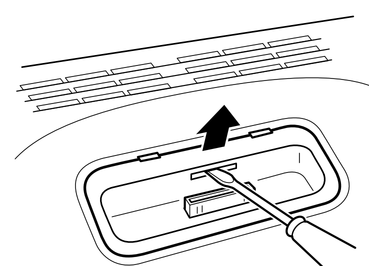
2.Dockアダプタを取り付ける

スリットがある側を奥にし、上面奥の平らな部分を両手で「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

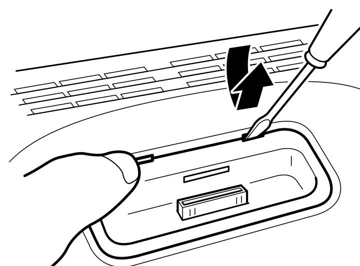


Dockアダプタの外しかた

下図のようにDockアダプタのスリットにマイナスドライバーなどを差し込んで上へ引き上げてください。



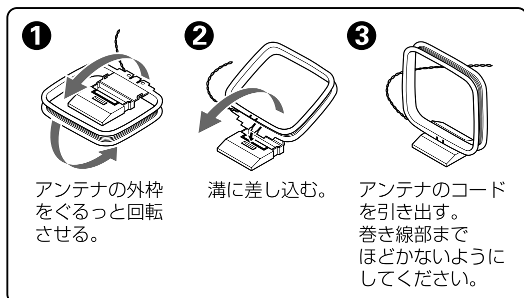
外すのが固い場合は、下図のように上部の溝にマイナスドライバー（小）などを差し込み、Dockアダプタに手を添えながら手前に引き上げてください。

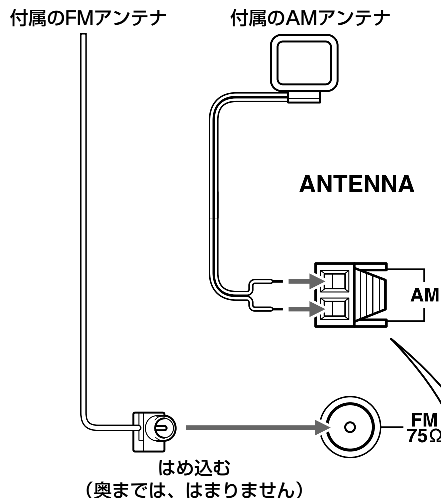


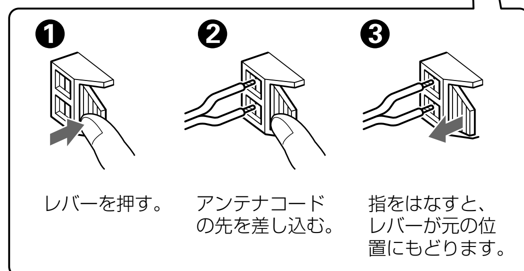
ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞20ページ）



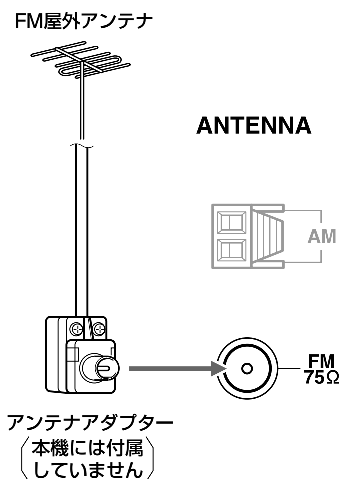




！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を上下端子のどちらに接続してもかまいません。

FM屋外アンテナを接続する



FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

- 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

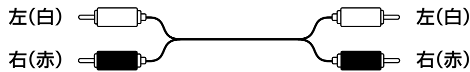
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（Rの表示）を右チャンネル、白いプラグ（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。

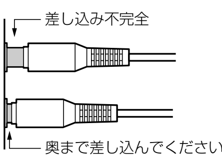


ビデオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 黄色のプラグをビデオ端子に接続してください。



- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。



- オーディオ用ピンコードは電源コードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。



設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

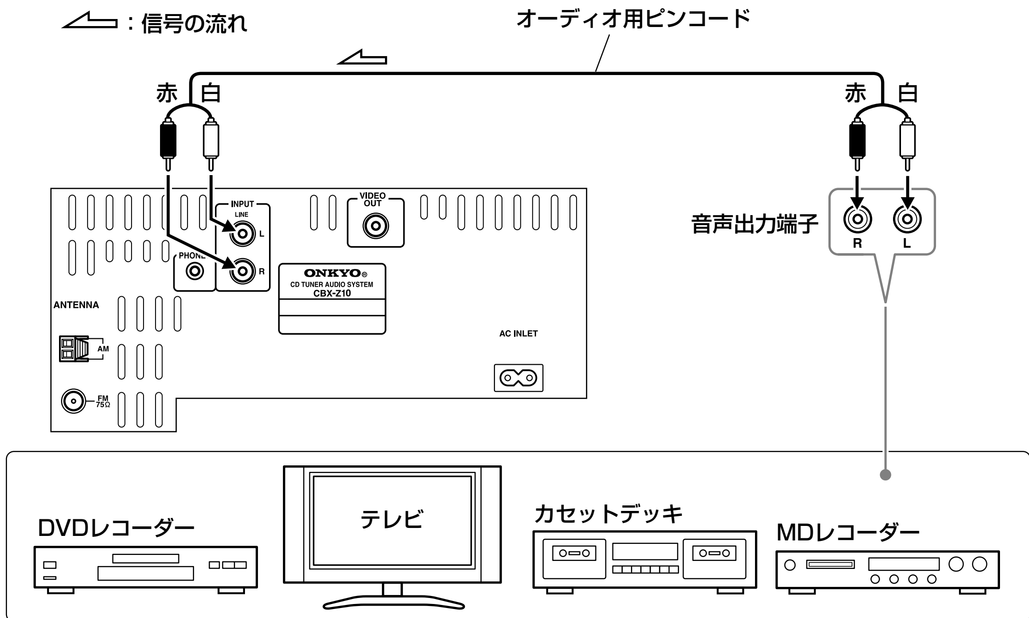
映像/音声ケーブルと端子の種類について

本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
オーディオ用 ピンコード		LINE L R	アナログ音声を伝送します。
ビデオコード （コンポジット）		VIDEO OUT	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

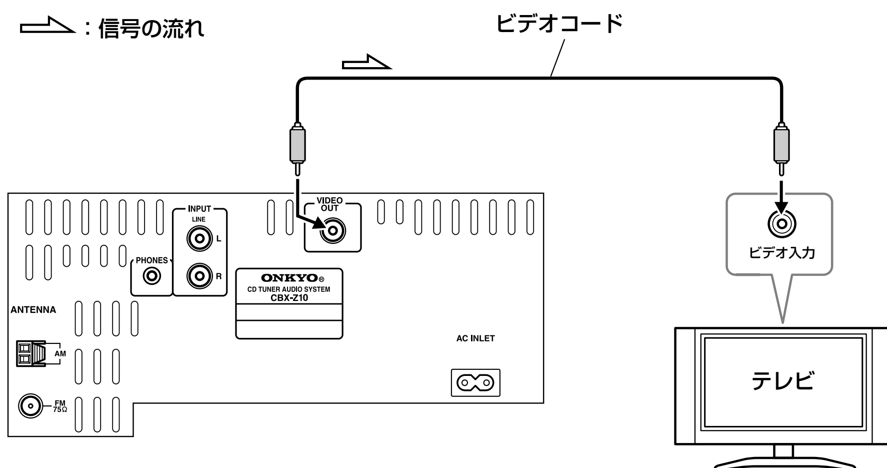
外部機器の音声を本機で聞くとき

本機後面のINPUT（LINE）端子と外部機器の音声出力端子を、市販のオーディオ用ピンコードを使って接続してください。



本機に接続したiPodのビデオや写真をテレビで見るとき

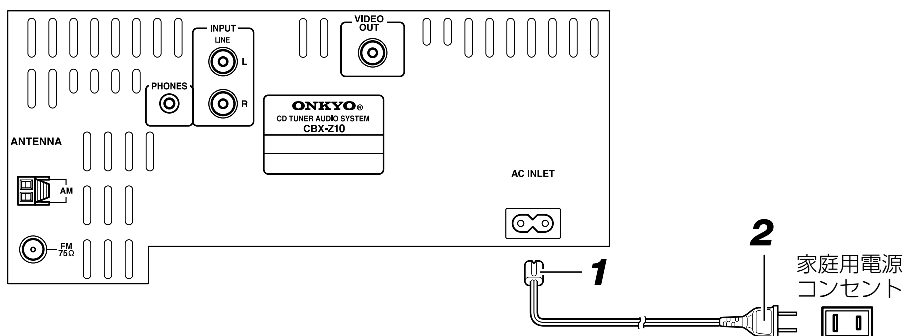
iPod photoや第5世代iPodをご利用の場合は、本機のVIDEO OUT端子とテレビのビデオ入力端子を、市販のビデオコードを使って接続してください。



- テレビで見るときは、iPodのTV出力を「オン」に設定してください。
- iPodの機種やソフトウェアのバージョンによっては、ビデオ再生の早戻し/早送り、また写真の戻し/送りができないことがあります。
- 映像出力に対応していないiPodでは、テレビで見ることはできません。

電源コードを接続する

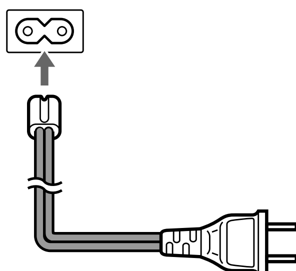
すべての接続が完了していることを確認してください。



1

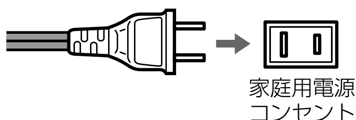
付属の電源コードを本体後面のAC INLET（インレット）に接続する

AC INLET



2

付属の電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続する



家庭用電源
コンセント

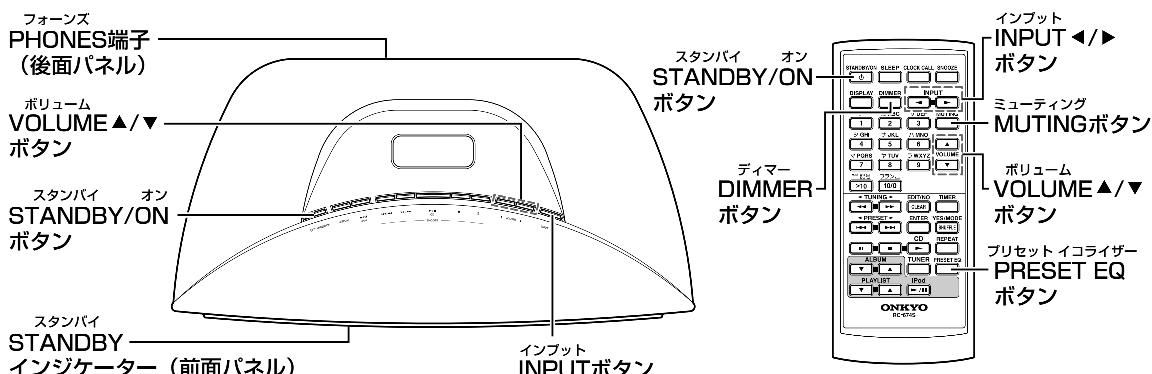
STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意

- **付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。**
  また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLET（インレット）から電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。
  誤ってコードのAC INLET側をさわると、感電する場合があります。

基本の操作を理解する

電源を入れる



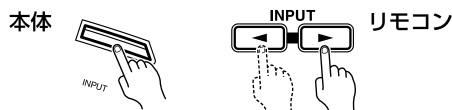
本体　リモコン

または

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

STANDBYインジケーターが消灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

入力を切り換える

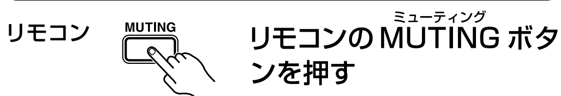


本体のINPUTボタンまたはリモコンのINPUT ◀/▶ ボタンを押して切り換える

CD、iPod、FM/AM放送、LINE（接続した外部機器）から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。



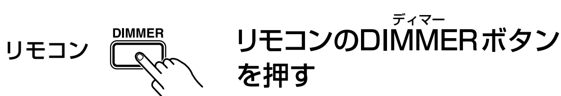
音を一時的に消す



リモコンのMUTINGボタンを押す

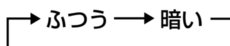
表示部のMUTINGインジケーターが点滅し、音を一時的に消します。もう一度押すと、解除されます。
以下のときも解除されます。
- 音量を調整したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

表示部の明るさを切り換える

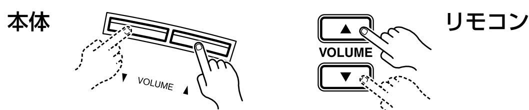


リモコンのDIMMERボタンを押す

押すたびに以下のように明るさが変わります。



音量を調節する



本体またはリモコンのVOLUME▼/▲ボタンを押す

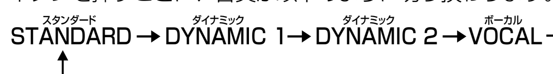
音量は、Min、1～41、Maxの範囲で調節できます。

音質を選ぶ



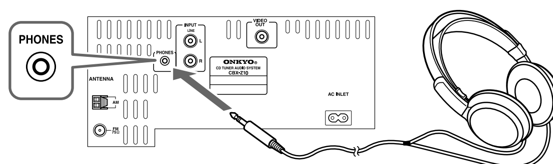
リモコンのPRESET EQボタンを押す

ボタンを押すごとに、音質が以下のように切り換わります。



ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

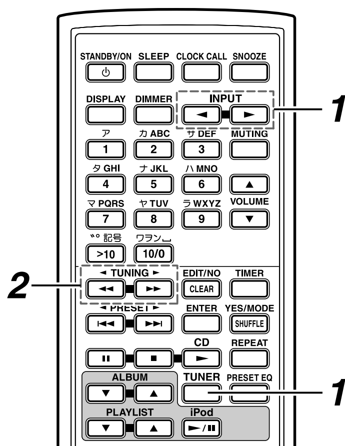


ご注意

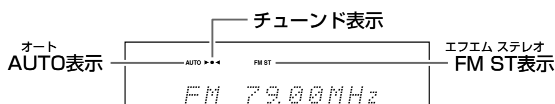
PHONES端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。

FM/AM放送を聞く

手動で周波数を合わせて聞く（リモコン操作のみ）



放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMをステレオ受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。



TV音声について
テレビのVHF1～3チャンネルの音声を聞くことができます。
1CH；95.75MHz　2CH；101.75MHz
3CH；107.75MHz

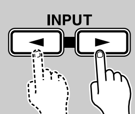
- 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によってはFM放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。

操作の前に
電源を入れてください。

1



または

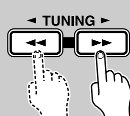


入力をFMまたはAMにする

TUNER（チューナー）ボタンを押して、「FM」または「AM」を選びます。
- ボタンを押すごとに「FM」「AM」が切り換わります。

INPUT（インプット）◀/▶ボタンでも「FM」または「AM」に切り換えることができます。

2



リモコンのTUNING（チューニング）◀/▶ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

1回押すごとにFMでは周波数が0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。
TUNING（チューニング）◀ボタンまたはTUNING▶ボタンをしばらく押してから手を離すと、FMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動的に停止します。
テレビの音声には自動的に止まりませんので、手動で希望のチャンネルの周波数に合わせてください。

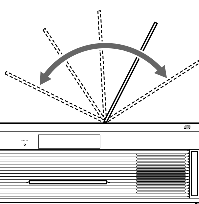
お知らせ
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
本機で受信できるVHF1～3CHについても同様となります。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

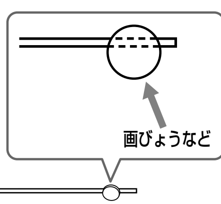
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶



アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

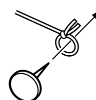
❷



画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

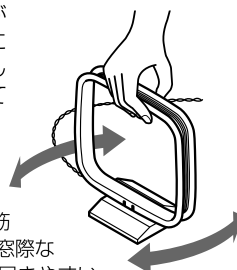
ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。



AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。



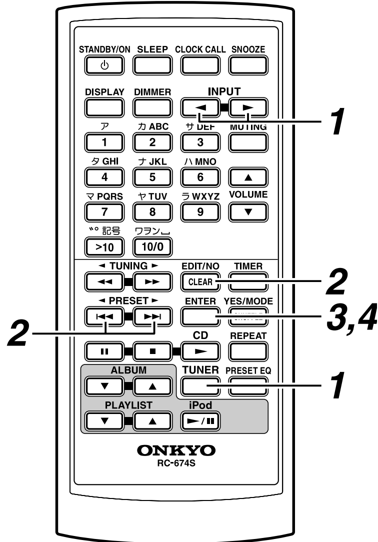
！ヒント
マンションなど、鉄筋構造の家屋の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところに設置してください。

放送局を自動で登録する－オートプリセット－（リモコン操作のみ）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。
AM局は自動で登録できませんので次ページをご覧ください。

予備知識

- FMの受信周波数は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットは76.00～90.00MHzの間で行います。
- すでに放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。



操作の前に
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞20ページ）

ご注意
お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞24ページ）

1

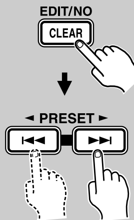


TUNERボタンを押して、「FM」を表示させる

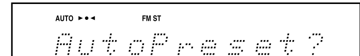


INPUT◀/▶ボタンで「FM」を表示させることもできます

2



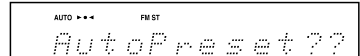
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、⏮/⏭ボタンを押して「AutoPreset?」を表示させる



3



ENTERボタンを押す

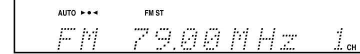


再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押してください。

4



ENTERボタンを押す



オートプリセットが始まります。
周波数の低い方から自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

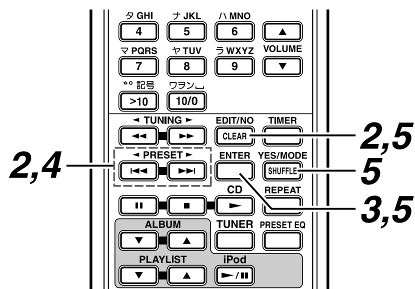
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞25ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞24ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞24ページ

放送局を1局ずつ登録する−プリセットライト−（リモコン操作のみ）

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。（FMは、この方法と自動で登録する「オートプリセット」があります。）

予 備 知 識

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されるので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

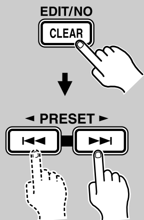


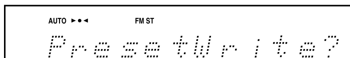
操作の前に
電源を入れてください。

1
登録したい放送局を受信する

20ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

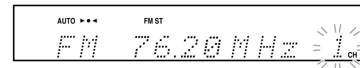
2
EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、⏮/⏭ ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる





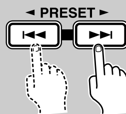
3
ENTER ボタンを押す

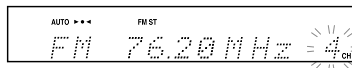
ENTER



登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4
別のチャンネルに登録するときは、⏮/⏭ ボタンを押してチャンネル番号を選ぶ

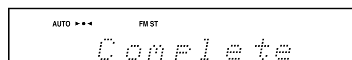




5
ENTERボタンを押して決定する

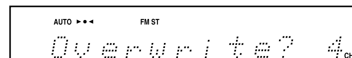


「Complete」（完了）と表示されたときは



放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは

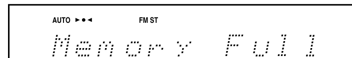


選んだチャンネル番号は登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE/SHUFFLEボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

YES/MODE SHUFFLE

EDIT/NO CLEAR

「Memory Full」と表示されたときは



FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞24ページ）、再度登録してください。

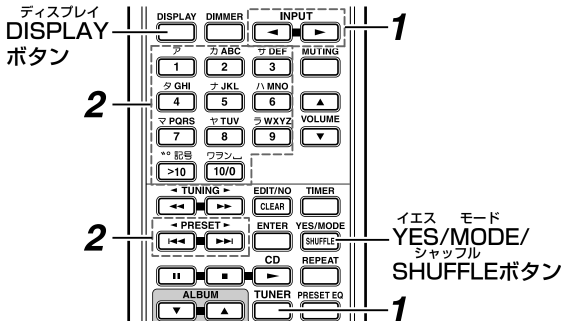
6
次を登録するときは、手順 *1*〜 *5* をくり返す

！ヒント 登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞25ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞24ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞24ページ

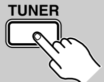
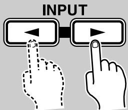
登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞21、22ページ）

■リモコンで操作する



操作の前に
電源を入れてください。

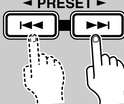
1


または


TUNER（チューナー）ボタンを（くり返し）押し、「FM」または「AM」にする

INPUT（インプット）◀/▶ボタンでも「FM」または「AM」に切り換えることができます

2



◀PRESET（プリセット）またはPRESET（プリセット）▶ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

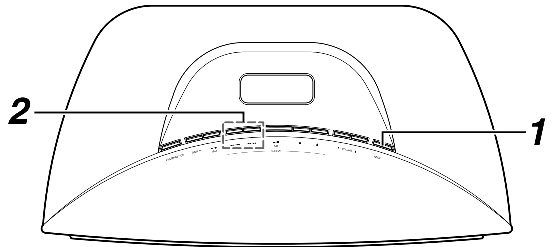
◀PRESET（プリセット）ボタンを押すと前のチャンネルを、PRESET（プリセット）▶ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

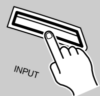
例）	登録番号	押すボタン
	8	8
	10	10/0
	22	>10　2　2

■本体で操作する



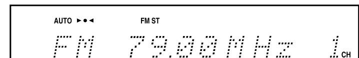
操作の前に
電源を入れてください。

1

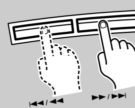


入力を「FM」または「AM」にする

INPUTボタンを（くり返し）押して、「FM」または「AM」にします。

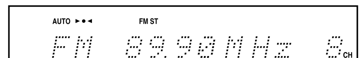


2



⏮/◀◀ボタンまたは▶▶/⏭ボタンを押してプリセットチャンネルを選ぶ

⏮/◀◀ボタンを押すと前のチャンネルを、▶▶/⏭ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。



表示部の情報を切り換える

リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、情報の切り換えができます。

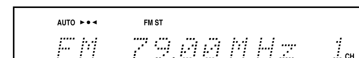
FM/AM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

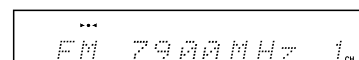
- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「登録した放送局に名前をつける」（25ページ）

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのYES/MODE/SHUFFLE（イエス モード シャッフル）ボタンを押し、AUTO（オート）（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTOに戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常はAUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。







登録した放送局を編集する（リモコン操作のみ）

コピーと削除の2つの基本機能を使って、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更、不要なチャンネルの削除などができます。

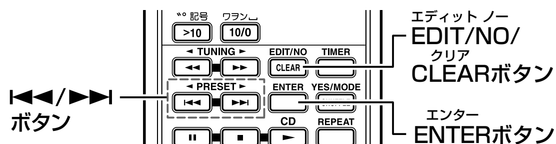
編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞25ページ）も同時にコピーされます。



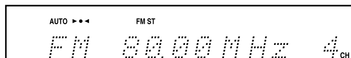
I◀◀/▶▶I ボタン

EDIT/NO/CLEARボタン

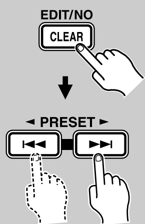
ENTERボタン

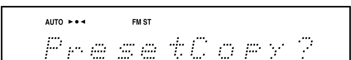
1 FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき



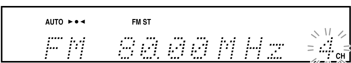
2 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、I◀◀/▶▶I ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる





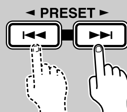
3 ENTER ボタンを押す

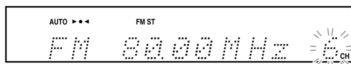




チャンネルが点滅を始めます。

4 I◀◀ / ▶▶I ボタンを押してコピー先のチャンネルを選び、ENTER ボタンを押す

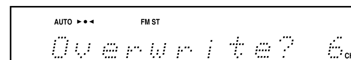






放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete」（完了）が表示されます。

「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは







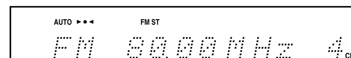
選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTERボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

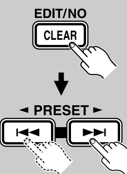
登録した放送局を削除する

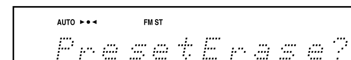
1 FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

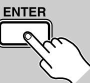


2 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、I◀◀/▶▶I ボタンを押して、「Preset Erase?」を表示させる

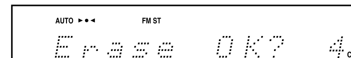




3 ENTER ボタンを押す

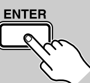


再確認のメッセージが表示されます。



削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

4 ENTER ボタンを押す



登録した放送局が削除され、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

FMやAMの登録した放送局にアルファベットやカタカナで名前をつけることができます。リモコンで操作します。

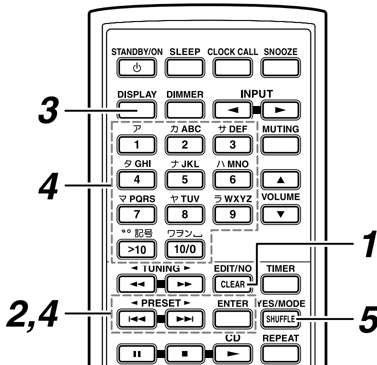
登録した放送局に名前をつける

最初に名前をつけたい放送局を登録しておいてください。(☞21、22ページ)

(☞21、22ページ)

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # $ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣（空白）（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

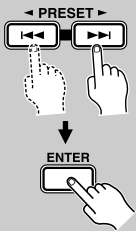


1



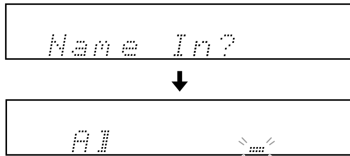
EDIT/NO/CLEAR ボタンを押す

2

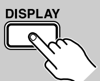


|◀◀/▶▶| ボタンで「Name In?」を選び、ENTER ボタンを押す

- 入力モードに入ります。



3

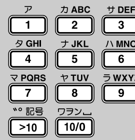


DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

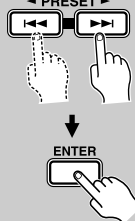
ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）

4



または



文字・数字ボタンや|◀◀/▶▶|ボタンで入力する文字を選ぶ

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が順に表示されます。

たとえば、2 ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、1 ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

記号を入力するには

>10 ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（>10 ボタンは、␣./＊-,!?&'() 10/0 ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「」や、その他記号の入力は、リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して選んでください。
- 濁点(゛)や半濁点(゜)は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。
- 入力できる文字数は8文字です。8文字を超えて入力しようとすると、「Full」と表示されます。

5



YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して入力を終了する

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」（25ページ）の手順 ***1***、***2*** を行ってください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ ● 訂正するときは、「登録した放送局に名前をつける」（25ページ）の手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する
● 消去するときは、EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押す

❸ 続けて文字を訂正/消去する場合は上記の❶❷を、終わるときはYES/MODE/SHUFFLE（イエス/モード/シャッフル）ボタンを押す

ご注意

EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」（25ページ）の手順***1***、***2*** を行ってください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる



❷ |◀◀ボタンを押して「M」を表示させ、ENTER（エンター）ボタンを押す



❸「登録した放送局に名前をつける」（25ページ）の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する



❹ 続けて文字を訂正/消去する場合は上記の❶❷を、終わるときはYES/MODE/SHUFFLEボタンを押す

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力をFMまたはAMにする

❷ |◀◀/▶▶|ボタンを押して名前を消去したい放送局を選ぶ

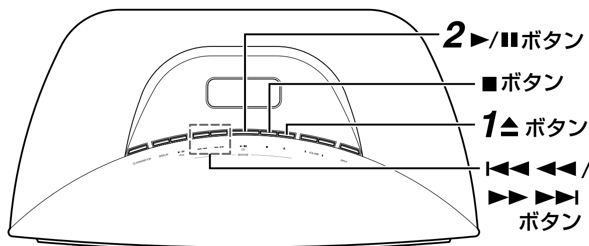
❸ EDIT/NO/CLEARボタンを押し、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Name Erase?（ネーム イレーズ?）」を表示させる

❹ ENTERボタンを押す

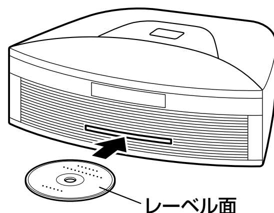
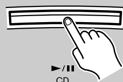
「Complete（コンプリート）」と表示され名前が消去されます。

CDを再生する

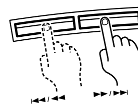
本体で操作する



操作の前に
電源を入れてください。

1	**CDをCDスロットに挿入する** レーベル面（印刷面）を上にして入れてください。 CDをCDスロットに挿入すると、CDは自動的にスロット内に引き込まれます。  レーベル面 ご注意 8cmCDもそのまま入れてください。アダプターを使うと故障の原因となります。
2 	**CD►/❚❚ボタンを押す**（プレイ/ポーズ） 再生が始まります。

聞きたい曲を選ぶ



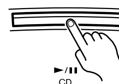
- 再生中に⏮/◀◀ボタンを1回押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次へ進みます。
- 停止中は⏮/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、▶▶/⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に⏮/◀◀ボタンまたは▶▶/⏭ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



一時停止する



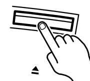
CD►/❚❚ボタンを押す
表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める



■ボタンを押す（ストップ）

CDを取り出す



▲ボタンを押す（イジェクト）

！ヒント
スタンバイ状態のときに▲（イジェクト）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

CDを再生する

リモコンで操作する

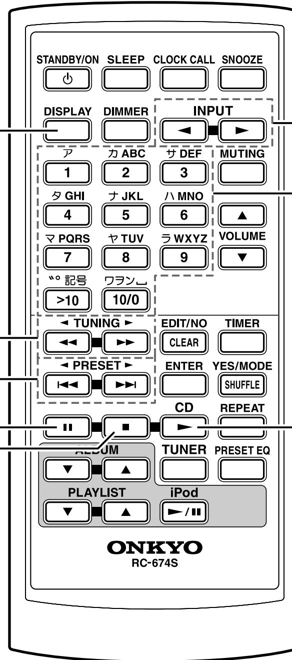
表示部の情報を切り換える
DISPLAY（デスプレイ）ボタンを押します。

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

聞きたい曲を選ぶ
- 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに１つ前の曲になります。
- ⏭ ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

再生を一時停止する
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める



CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する
10/0 ボタン:10または0を選びます。
>10 ボタン: 2桁以上の曲を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4

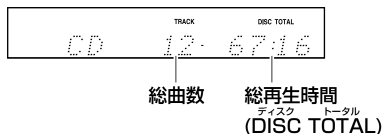
11曲目以降を再生するときは、>10 を押してから選曲します。

再生する
ＣＤがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

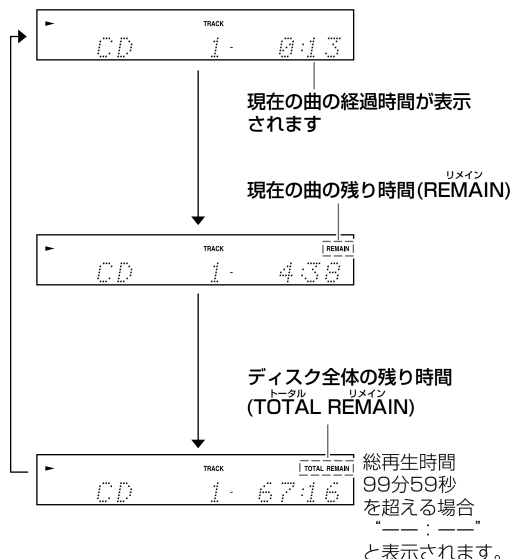
リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中



総曲数　総再生時間 (DISC TOTAL)（ディスク トータル）

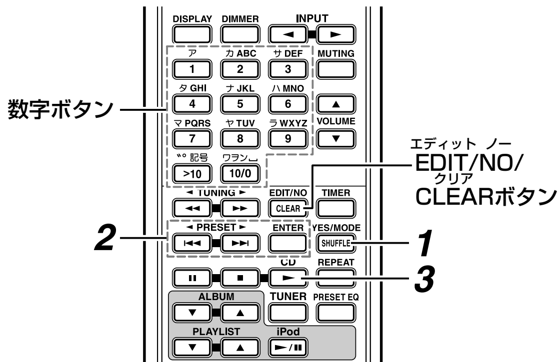
再生中、一時停止中



総再生時間99分59秒を超える場合“ーー：ーー”と表示されます。

メモリー再生

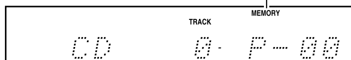
曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。



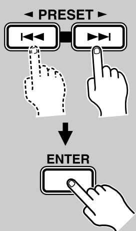
停止状態にしてから操作します。

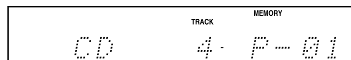
1 YES/MODE/SHUFFLEボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」を表示させる

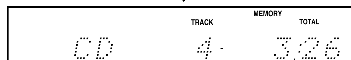
MEMORY表示点灯



2 ⏮/⏭ボタンでトラックを選び、ENTERボタンを押す







予約曲番　予約曲の合計再生時間

- 次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。
- リモコンの数字ボタンを使って操作することもできます。

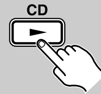
登録した曲を削除するには

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。押すたびに最後に登録した曲から削除されます。

ご注意

- 総再生時間が99分59秒を超える場合は、「- - : - -」と表示されます。
- 最大25曲まで登録できます。それを超えて登録しようとすると「Memory Full」と表示され、これ以上登録できないことを表します。

3 CD▶ボタンを押す





再生中の曲番

メモリー再生が始まります。

- 本体のCD▶/❚❚ボタンを押して再生を始めることもできます。

予約した曲のなかで選曲する

再生中にリモコンの⏮/⏭ボタンを押すか、本体の⏮/◀◀ボタンまたは▶▶/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

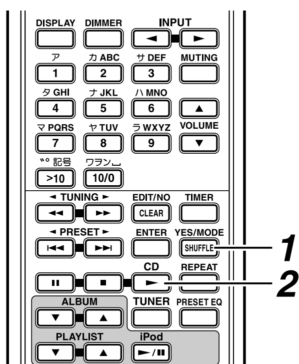
- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- YES/MODE/SHUFFLEボタンを押して、一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を一通り再生します。

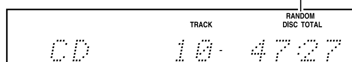


1

YES/MODE
SHUFFLE

停止中にYES/MODE/SHUFFLEボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」を表示させる

RANDOM表示点灯

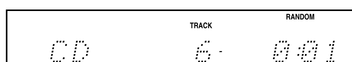


2

CD

CD►ボタンを押す

ランダム再生が始まります。



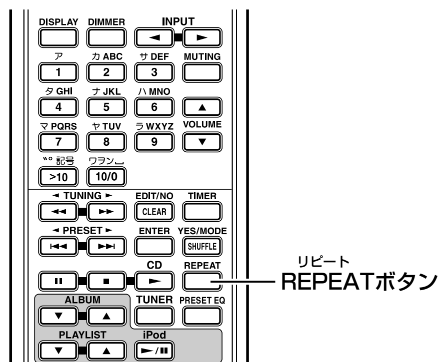
再生中の曲番

ランダム再生を解除するには

- 停止中にYES/MODE/SHUFFLEボタンを押して再生モードを切り換えると、RANDOM表示は消えてランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

リピート/1TRリピート再生

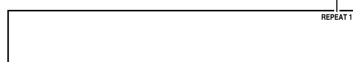
- リピート再生はCD全体をくり返し再生します。
- 1TRリピート再生は1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。





REPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

REPEATまたはREPEAT1表示点灯



リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

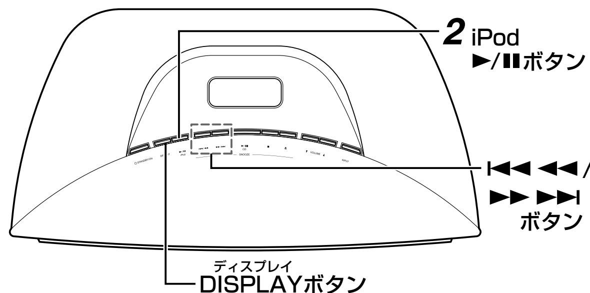
リピート、1TRリピート再生を解除するには

- REPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にすると、リピート、1TRリピート再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

iPodを再生する

本体で操作する

本機は、第3世代iPodには対応していません。

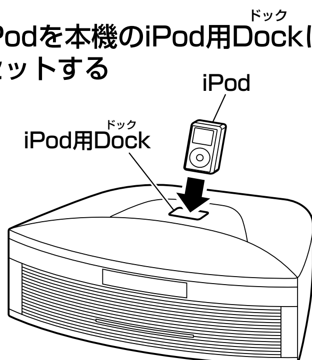


ご注意

- ご使用になる前に、必ずご使用のiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデータは、Apple社のホームページにて入手してください。
- iPod単体をしばらく一時停止状態にして、iPodが休止状態になっているときは、iPodを本機に差し込んだ後しばらく待って、iPodが操作可能な状態になってから操作してください。

1

iPodを本機のiPod用Dock（ドック）にセットする

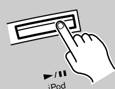


iPodのドックコネクタを本機のiPodコネクタにしっかり差し込みます。
iPodは、一時停止状態になります。

ご注意

- 保護カバーを取り外し、必ず適合するDock（ドック）アダプタを本機のiPod用Dockに取り付けてからご使用ください。（☞14ページ）
- iPodを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部に無理な力を加えないようにしてください。また、使用中にiPodを前後に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。
- iPodをケースなどに入れている場合、完全にコネクタと接続できず、音が出ない、リモコンで操作できないなどの問題が起きることがあります。iPodは、ケースを外してから本機に接続してください。

2



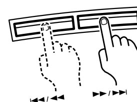
iPod▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

スタンバイ状態のときに▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

聞きたい曲を選ぶ



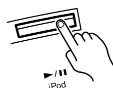
- **再生中にI◀◀/◀◀ボタンを1回押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。▶▶/▶▶Iボタンを押すと1曲ずつ次へ進みます。**
- **一時停止中はI◀◀/◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、▶▶/▶▶Iボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。**

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中にI◀◀/◀◀ボタンまたは▶▶/▶▶Iボタンを押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。



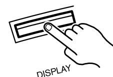
一時停止する



iPod▶/❚❚ボタンを押す

iPodの表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

iPodのバックライトを点灯する



DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

iPodの表示部のバックライトが30秒間点灯します。

iPodを再生する

リモコンで操作する

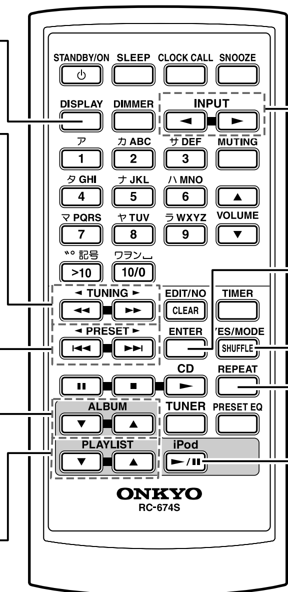
iPodのバックライトを点灯する
iPodのバックライトを30秒間点灯させます。

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

聞きたい曲を選ぶ
- 再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
- ⏭ ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

アルバムアップ/ダウン
iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のアルバムに、▼ボタンを押すと前のアルバムにスキップします。

プレイリストアップ/ダウン
iPodにプレイリストがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のプレイリストに、▼ ボタンを押すと前のプレイリストにスキップします。



iPodを選ぶ

選択した内容を決定する
iPodの操作画面で選択している内容を決定します。

シャッフルモードを切り換える
シャッフルモード（曲→アルバム→オフ）を切り換えます。
- 曲かアルバムかの確認は、iPodの設定画面をご覧ください。

リピートモードを切り換える
リピートモード（1曲→すべて→オフ）を切り換えます。

再生する/一時停止する
一時停止中に押すと再生し、再生中に押すと一時停止します。
iPodがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。



iPodの機種やソフトウェアのバージョンによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

本機によるiPodの連動動作

iPodの世代によって、下記のようなシステム動作ができます。

システムオン動作
本機の電源をオンにすると連動してiPodの電源がオンになります。

システムオフ（スタンバイ）動作
本機をスタンバイ状態にすると連動してiPodをスタンバイ状態にします。

タイマーオフ（スタンバイ）動作
本機のタイマーが働いて本機がスタンバイ状態になったとき、連動してiPodをスタンバイ状態にします。

ダイレクトプレイ、タイマープレイ動作
本機のタイマーが働くことにより、連動してiPodの電源が自動的にオンになりiPodの再生が始まります。

オートパワーオン機能
本機がスタンバイ状態のときにiPod ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押すと、本機とiPodの電源がオンになり、入力が切り換わったあとiPodの再生が始まります。

セレクターチェンジ動作
本機が他の入力のときにiPod►/❚❚ボタンを押すと、入力が自動的に切り換わったあとiPodの再生をします。

使用上のご注意
音量は本機で調整してください。iPod本体にヘッドホンを接続してお楽しみいただくときは、音量が大きくなりすぎていないか、iPod本体で確認してからご使用ください。

iPodによる本機の連動動作

iPod再生検出機能
iPod本体が再生を始めると、次の連動動作を行います。
- 本機がスタンバイ状態のとき、電源が自動的にオンになり、入力が自動的に切り換わります。
- 本機が他の入力を選んでいるとき、入力が自動的に切り換わります。

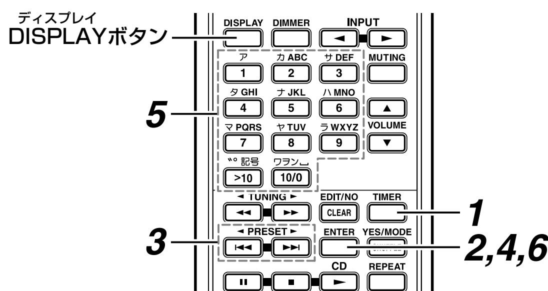
iPodのアラーム機能に連動
- iPodのアラーム機能で再生が始まると本機も電源がオンになり、入力が切り換わります。

ご注意

- iPodをビデオ再生する場合は、連動しません。
- iPod本体を操作して再生する場合や、iPodのアラーム機能により再生を開始した場合、本機から音が出るまで最大で5秒程度、出だしが欠けます。これが気になる場合は、本機のタイマープレイ機能を利用することをおすすめします。
- 他のiPod関連商品と接続してご使用の場合は、iPod再生検出機能が働かない場合があります。

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示で説明しています。）



1



TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示させる

すでに時計が働いているときは、TIMERボタンを押すと、「Timer 1」と表示されるので、TIMERボタンをくり返し押して「Clock」を表示させます。

Clock

2

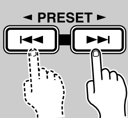


ENTERボタンを押す

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3



◀◀/▶▶ボタンを押して、曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

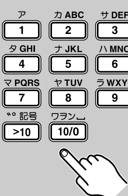


ENTERボタンを押して、曜日を確定する

THU 0:00

時間入力に入ります。

5



数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

THU 19:03

- DISPLAYボタンで、24時間表示と12時間表示を切り換えることができます。
- am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- ◀◀/▶▶ボタンで時刻を合わせることもできます。

6



時報に合わせてENTERボタンを押す

THU 19:03

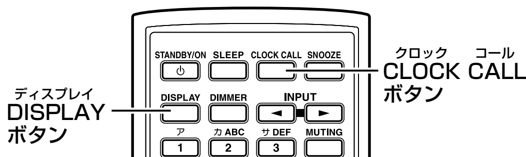
時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

時刻合わせを中断するときは

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

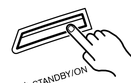
リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すと、もとの表示に戻ります。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。



12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには



電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。時刻のみが表示されます。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機時電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

再生機器の選択

FM/AM放送またはCD、iPod、LINEを再生ソースとして選ぶことができます。

曜日の設定

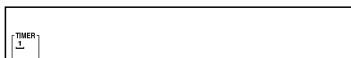
タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日）」あるいは「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
- タイマー再生中にTIMERボタンを押すとそのタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。

タイマー表示について



タイマーが設定されていると、そのタイマー番号が点灯します。スヌーズオンに設定されている場合は、そのタイマー番号の下に ␣ が表示されます。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。

Timer 1　　9：00 － 10：00
Timer 2　　8：00 － 10：00

↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)

- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer 1　　12：00 － 13：00

↑ 優先（タイマー番号が小さい方）

Timer 2　　12：00 － 12：30

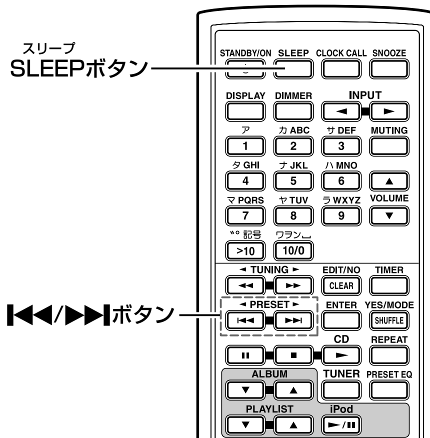
2つのタイマーのオフ時刻とオン時刻を同時刻に設定した場合、1つのタイマーが終了しても、もう1つのタイマーは動作しません。

Timer 1　　2：00 － 3：00
Timer 2　　3：00 － 10：00

↑ 動作しない

SLEEPタイマーを使う（リモコン操作のみ）

設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になります。



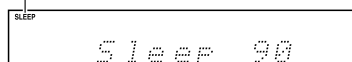


SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

SLEEP表示点灯



1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に、⏮/⏭/ボタンを押します。

1～99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

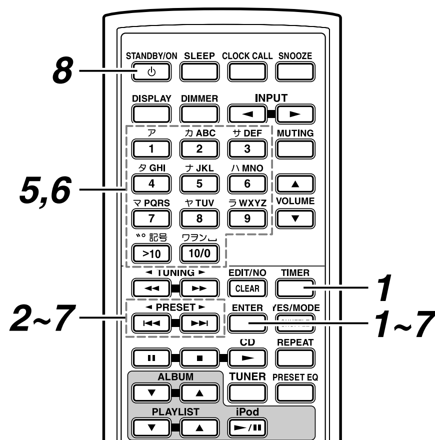
SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSleepタイマーは解除されます。

SLEEPタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

タイマーを予約する（リモコン操作のみ）

FM/AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞21、22ページ）



ご注意

- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

1



＜タイマー番号の選択＞

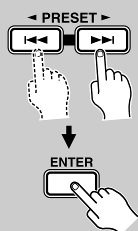
Timer 1

TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer（タイマー） 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTER（エンター）ボタンを押します。

「Clock（クロック）」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞33ページ）

2



＜SNOOZE（スヌーズ）の設定＞

Snooze On

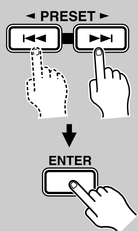
または

Snooze Off

⏮/⏭ボタンを押して、スヌーズ動作の「ON（オン）」（初期設定）か「OFF（オフ）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

☞「SNOOZE（スヌーズ）を使う」（38ページ）

3



＜再生機器の選択＞

F M

⏮/⏭ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。

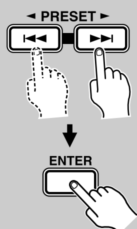
FMまたはAMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して、再生するチャンネルを選ぶ

再生するチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

FM 87.50MHz 3 CH

4



＜曜日の設定＞

Every

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、“Once”または“Every”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

SUN

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday［毎日］ ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON-SAT

TUE

TUE-SUN

① |◀◀/▶▶|ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

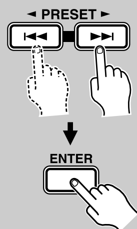
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

② |◀◀/▶▶|ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

5



＜開始時刻の設定＞

```
On   7:29
```

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

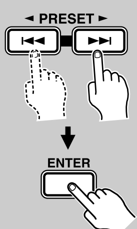
時刻を表示させたらENTER（エンター）ボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

開始時刻（On（オン））を変更すると終了時刻（Off（オフ））は自動的に1時間後の表示になります。

6



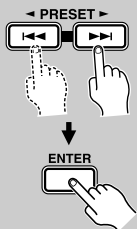
＜終了時刻の設定＞

```
Off 8:29
```

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

7



＜音量の設定＞

```
TimerVol. 15
```

↓

タイマー設定表示

```
[TIMER 1]   Timer On
```

On（オン）に設定されているタイマー番号

⏮/⏭ボタンを押して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は「15」です。
音量を設定したらENTERボタンを押します。

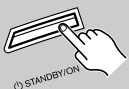
8

リモコン



または

本体



＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

本体またはリモコンのSTANDBY/ON（スタンバイ／オン）ボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

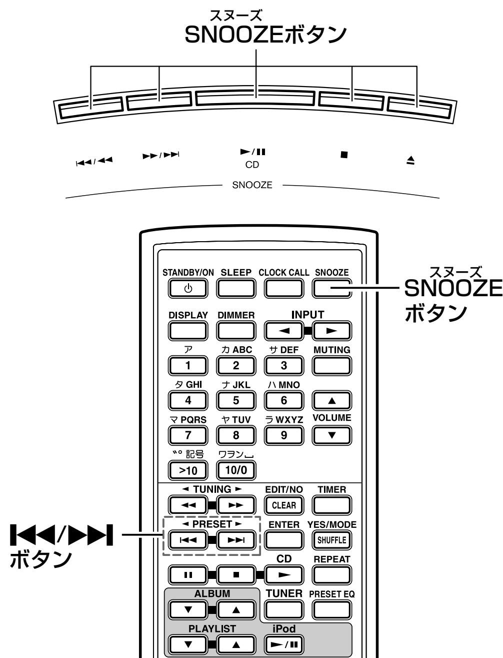
- CDのタイマー再生で、メモリー、ランダムモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマーの予約時刻になってもタイマーは動作しません。タイマーを動作させるには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER（タイマー）ボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。

タイマー予約をやり直したいときは…TIMERボタンを押し、最初から設定してください。
タイマー予約を途中でやめるときは…EDIT/NO/CLEAR（エディット／ノー／クリア）ボタンを押してください。

タイマー機能を使う

SNOOZE（スヌーズ）を使う

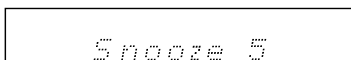
目覚ましなどにタイマー再生を使うとき、設定した時間だけ再生を一時的に止めることができます。

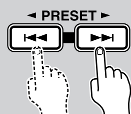




SNOOZE（スヌーズ）ボタンを押す

タイマー予約でスヌーズ動作の「ON（オン）」を選んだ場合（☞35ページ）、タイマー動作中（再生中）にSNOOZE（スヌーズ）ボタンを押すと、表示部に約8秒間「Snooze 5」と明るく表示されて再生が止まり、5分後に再び動作（再生）を開始します。スヌーズは、設定したタイマーオフ時刻まで何回でもくり返し行うことができます。





！ヒント

スヌーズ時間を変更するには、SNOOZE（スヌーズ）ボタンを押した後、明るく表示されている約8秒の間に、◀◀/▶▶ボタンを押してください。1〜30分の範囲で1分単位の時間を設定することができます。
以後のスヌーズは、その設定時間で動作します。

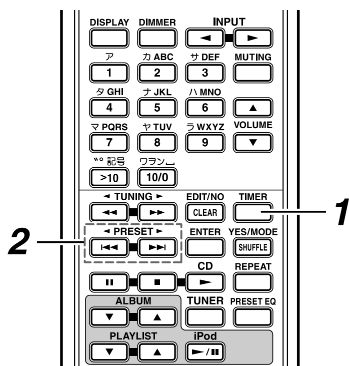
- 「Snooze」表示中にSNOOZE（スヌーズ）ボタンを押したときは、再び設定時間だけスヌーズ動作を行います。
- スヌーズ動作中を途中で解除するには、STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押してください。この場合、タイマー動作も同時に解除され、スタンバイ状態になります。
- スヌーズ動作「ON（オン）」のタイマー再生中は、本体の◀◀/◀◀、▶▶/▶▶、CD▶/❚❚（プレイ/ポーズ）、■（ストップ）、▲（イジェクト）ボタンはSNOOZEボタンとして働きます。これらのボタンの機能（スキップ、早送り/早戻し、再生/一時停止、停止）を働かせる場合は、リモコンで操作してください。また、CDを取り出すにはタイマー動作終了後、あるいはタイマー動作を解除してから▲ボタンを押してください。

ご注意

スヌーズで再生が一時的に止まっている間にタイマーオフ時刻がくると、電源がスタンバイ状態になり、再び再生は始まりませんので ご注意ください。

タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。



1

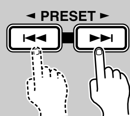


TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）に設定されている状態です。

2



|◀◀/▶▶|ボタンを押して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

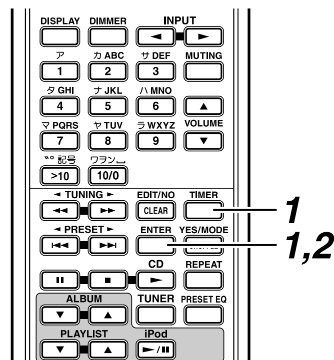
TIMER 1 Timer On

または

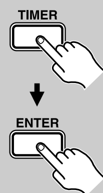
Timer Off

切り換えると数秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには



1



TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマー番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2



ENTERボタンを (くり返し)押して、次の内容を確認する

FM

押すたびに次の設定内容を確認できます。

！ヒント

確認中|◀◀/▶▶|ボタンを押して、設定内容を変更することもできます。

タイマー設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認後、しばらくするともとの表示に戻ります。

確認を途中でやめるにはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

困ったときは

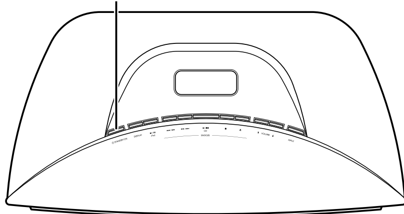
まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

！ヒント 修理を依頼される前に

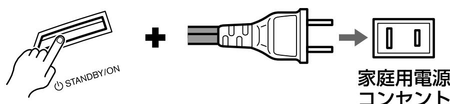
すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

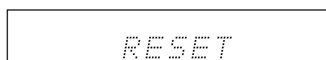
本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットしてすべての内容をお買い上げ時の設定に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。

STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタン



1.電源プラグをコンセントから抜きます。
2.本体のSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。





表示部に「RESET（リセット）」と表示されたあと、スタンバイ状態に戻ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 電源コードが本体後面のAC INLETにしっかり接続されているか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。（34ページ）
- タイマー再生（34〜37ページ）は終了時刻になるとスタンバイになります。

音に関して

音声が出ない

- ボリュームが小さすぎませんか?
- INPUTは正しく選択されているか確認してください。
- “MUTING”が点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。（19ページ）
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。（19ページ）

音が良くない/雑音が入る

- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

INPUT（LINE）端子に接続した機器の音声が出ない

- PHONES端子に間違って接続していませんか？
- 接続している機器の音量が小さくなっていませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンのプラグを清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードは電源コードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

iPodに関して

音が出ない

- iPodが再生していることをご確認ください。
- 本機のiPod用DockにiPodがしっかり接続されているか確かめてください。（7、31ページ）
- 本機の電源がオンになっているか、入力が「iPod」になっているか、音量が小さくなっていないか、確かめてください。

本機に付属のリモコンで操作できない

- 本機のiPod用DockにiPodがしっかり接続されているか確かめてください。（7、31ページ）
- iPodを操作するときは、リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。（13ページ）
- iPodを接続してiPodにグレーのAppleロゴが表示された場合は、それが消えてから操作してください。
- iPodの機種やソフトウェアのバージョンによっては、一部の機能が操作できない場合があります。（7、31、32ページ）

充電ができない

- 本機のiPod用DockにiPodが正しく接続されているか確かめてください。（7、31ページ）
- 本機は、第3世代iPodには対応していません。

CDに関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲番であることを確認してください。

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っていませんか？　▲ボタンを押してみてください。
- ディスクをCDスロットの中央に水平に挿入してください。
- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（8ページ）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。（29、30ページ）

ディスクが入っているのに「No Disc」と表示され操作できない

- 一度電源プラグを抜いて入れ直し、スタンバイ状態でCD►/▌▌ボタンを押してみてください。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で正常に再生できない場合があります。

ＦM/AM放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送のとき、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で“FM ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（15ページ）
- アンテナの位置を変えてみてください。（20ページ）
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。窓際で受信してみてください。
- FMモードをモノラルに切り換えてみてください。（23ページ）
- それでも受信状態が悪いときは市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。
- AM放送受信時にリモコンを操作すると雑音が入る場合があります。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 短時間の停電ではメモリーが消えることはありませんが、長時間電源プラグを抜いたままにするとメモリーが消えます。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻を設定し直してください。タイマー設定はすべてオフになりますが、タイマー内容は記憶されています。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀TUNING▶ボタンを押して調整してください。（20ページ）

リモコンに関して

リモコンが働かない

- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？（13ページ）
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？（13ページ）
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？（13ページ）
- 電池が消耗していませんか？
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。（13ページ）
- 電池が接触不良を起こしている場合は、電池を一度取り出して乾いた布で拭いた後、もとどおり電池を入れてください。（13ページ）

外部機器との接続に関して

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。
- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生に関して

タイマー再生しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生はできません。曜日と現在時刻を設定してください。（33ページ）
- 曜日設定は正しく設定されていますか？（33～37ページ）
- am/pmを間違えていませんか？（33～37ページ）
- 12時間表示と24時間表示を間違えていませんか？（33～37ページ）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（37ページ 手順***8***）
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。（34ページ）
- タイマーの音量設定は、適切に設定しておいてください。（37ページ 手順***7***）

スタンバイ状態で時計が表示されない

- リモコンのCLOCK CALLボタンを押すと、8秒間表示させることができます。（33ページ）
- 常に表示させるには、スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。（33ページ）

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってから改めて電源プラグを差し込んでください。それでも直らない場合は、40ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を参照してリセットしてください。

主な仕様

■総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz	
消費電力	31W	
待機時電力	0.25W*	
最大外形寸法	435(幅)×138(高さ)×231.5(奥行)mm	
質量	4.3kg	
音声入力	アナログ	1
映像出力（コンポジット）	1	
音声出力	ヘッドホン	1

■ アンプ部

実用最大出力	5W＋5W（6Ω JEITA）

■ スピーカー部

ユニット	8cm OMFフルレンジ×2
防磁設計	有（JEITA）

■チューナー部

<FM>

受信範囲	76.00MHz～108.00MHz**	
受信感度（75Ω）	Stereo	22.2dBf（IHF）
	Mono	15.2dBf（IHF）
SN比	Stereo	56dB（IHF-A）
	Mono	58dB（IHF-A）
歪率	Stereo	0.7%（1kHz）
	Mono	0.52%（1kHz）
ステレオセパレーション	40dB（1kHz）	

<AM>

受信範囲	522kHz～1629kHz
実用感度	30μV
SN比	42dB
歪率	1.2%（1kHz）

■CD部

周波数特性	4Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	96dB
全高調波歪率	0.085%
ワウ・フラッター	測定限界以下（±0.001% W.PEAK）

* 時刻表示なし、およびiPod非接続時
** 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1～3CHの音声を聞くことはできなくなります。

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　CBX-Z10
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　9：30～17：30
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）

G0705-1

SN 29344549

